

平成 28年7月吉日

各 位

公益社団法人 北海道観光振興機構  
会 長 堰 八 義 博  
(公 印 省 略)

広域観光推進事業「モデルルート視察・検証事業」の募集について<ご案内>

拝啓 時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当機構の事業推進に格別なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般、道内各地域において、着地型の商品づくりや、拠点周遊モデルルートの整備に広域連携で取り組んでおり、そのエリアを専門的な知見と商品化に向けた流通網を有した事業者の皆様、実際に現地を視察・検証していただき、地域とともに観光資源の掘り起こしと磨き上げを行い、魅力ある観光地として育てていくために、標記の事業を実施したいと存じます。

つきましては、本事業の趣旨をご理解いただき、モデルルートの視察・検証をご検討いただける場合は、下記のとおり、別紙様式にてご応募頂きますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 事業名 モデルルート視察・検証事業
2. 事業目的 広域の拠点周遊整備に取り組んでいる、道内の各地域に、専門的な知見と流通網を有する観光の目利きに、実際に現地を視察・検証してもらい、各地域における広域連携による魅力ある観光地づくりの推進を図る。
3. 対象事業者 首都圏を中心とした旅行会社・媒体社等
4. 視察・検証経費 1ルートあたり150万円(消費税含む)を上限とします。  
(詳細は実施要領を参照願います)
5. 予算総額 750万円(消費税含む)
6. 応募方法
  - (1) 所定の応募用紙に必要事項を記載いただきます。
  - (2) 応募申し込み期限は、7月25日(月)までとさせていただきます。
  - (3) 当機構内に設置する審査会において視察・検証いただく事業者を決定します。
  - (4) 応募状況により希望通りのルートを選定されない場合もあります。  
予めご了承ください。

■お問い合わせ

事務局：事業企画推進部商品開発グループ 秋井・生川

[t\\_aki@visithkd.or.jp](mailto:t_aki@visithkd.or.jp)

[narukawa@visithkd.jp](mailto:narukawa@visithkd.jp)

TEL 011-231-0941(代表) 011-231-2900 (直通)

## 平成28年度 広域観光推進事業「モデルルート視察・検証」実施要領

### 1 目的

公益社団法人北海道観光振興機構（以下、観光機構）は、ミニ観光周遊（拠点周遊）ルート（以下、モデルルート）の整備に取り組んでいる道内の各地域に対し、首都圏などから旅行会社や媒体社など専門的な知見と流通網を有する観光の目利きに、実際に現地を視察・検証してもらい、各地域における広域連携による魅力ある観光地づくりの推進を図る。

### 2 対象団体

首都圏を中心とした、都市部の旅行会社・媒体社等

### 3 ミニ観光周遊（拠点周遊）ルート視察・検証の定義

モデルルートの視察・検証は、次の要件をいずれも満たすものとする。

- (1) 観光機構が指定する「モデルルート」を実際に視察・検証すること。
- (2) 1モデルルートあたりの視察・検証を、2泊3日以上で実施すること。
- (3) 1モデルルートあたり、首都圏を中心に、8名以上（最大15～20名程度）で視察・検証を実施すること。
- (4) 視察・検証の際、広域連携による観光地づくりに取り組む地域の観光関係者との意見交換の機会を必ず設け、視察した感想や意見、アドバイスをを行うこと。  
（地域の観光関係者との意見交換の調整は、観光機構が仲介を行う。）
- (5) 平成29年3月末までに現地視察・検証を完了させること。

### 4 モデルルートの視察・検証に係る経費（委託方式）

モデルルート視察・検証に係る経費は、次の各号に該当するものとし、観光機構が必要かつ適当と認める経費とする。

#### (1) 道内までの旅費・道内での滞在に要する経費

旅費（航空賃又は運賃・指定席特急料金）、道内バス借り上げ賃、道内JR運賃・指定席特急料金・宿泊費（1泊2食）・昼食代・視察先入場料（アウトドア体験料も含む）、国内傷害保険料等

※原則、対象となるモデルルートのエリア内で宿泊しなければならない。

（ただし、宿泊先は任意とする）

※地元観光関係者との懇親に係る飲料経費は対象外とする。

#### (2) その他必要な経費で、観光機構が認めた経費

### 5 事業に対する委託限度額

事業の委託限度額は、1モデルコース（1事業）当たり150万円を上限とする。

※原則、上記第4で認められた経費の実費精算とする。

## 6 事業の完了期日

原則として、平成29年3月末までに完了の事業とする。

## 7 事業の採択

- (1) モデルルートの視察・検証を実施しようとする場合、その団体（以下、提案社）の代表者は、提出資料①「応募用紙」を、平成28年7月25日（月）までに観光機構に提出しなければならない。
- (2) 観光機構は、提出された「応募用紙」の内容を審査のうえ、採否について決定し、その結果を提案者に通知する。

## 8 事業の実施

- (1) 提案社は、モデルルートの視察・検証終了後、提出資料②「視察・検証実施報告書」及び経費の債務に係る書類（以下「見積書、請求書等」という。）を観光機構に提出するものとする。
- (2) 観光機構は、見積書、請求書等を収受後、速やかにその内容を審査のうえ、対象となる経費を提案社に支出するものとする。
- (3) 提案社はモデルルートの視察・検証終了後、30日以内（3月末にモデルルートの視察・検証を実施した場合は4月10日迄）、視察・検証実施報告書（書式は別途、観光機構より送付）及び関係書類を提出し、事業完了としなければならない。

以上

平成28年度広域観光推進事業「モデルルート検証」応募用紙

平成28年 月 日

応募団体名	会社名		
	連絡先	原則、実績報告・精算業務の実務担当者を記載願います。 担当者名： TEL： E-mail：	
視察・検証希望先	モデルルート 視察・検証 希望先	[第1希望(事業名)]  [第2希望(事業名)]	
	重点的に視察 したい観光 素材やメニ ューを記載	[第1希望]	[第2希望]
日程	実施期間 (年月日) 現時点での 予定で結構 です。	[第1希望(例：○月中旬頃 2泊3日)]  [第2希望(例：○月中旬頃 2泊3日)]	
	宿泊予定地	[第1希望] 1泊目：                      2泊目：                      (3泊目：                      ) [第2希望] 1泊目：                      2泊目：                      (3泊目：                      )	
	視察の 行程(案)	書ききれない場合は、別紙(オリジナル)で行程表を作成し添付のこと。 [第1希望]  [第2希望]	
	視察・検証を 行う予定の 担当者の プロフィール (属性)	(例：北海道商品造成担当者 東京○名、名古屋○名、大阪○名、福岡○名) (例：首都圏・関西圏の店頭販売員○名、パーソナルプラン造成担当者○名) (例：雑誌○○編集者○名、ライター○名、カメラマン○名) [第1希望]  [第2希望]	

	<p>経費の明細 (予算額 単位：千円)</p>	<p>(例：航空賃、バス借り上げ賃、宿泊費、施設入場料など概算額で記載)</p> <p>[第1希望]</p> <p>① ② ③ ④ ⑤</p> <p>[第2希望]</p> <p>① ② ③ ④ ⑤</p>
<p>視察・ 検 証 の 効 果</p>	<p>視察・検証を実施した結果、見込まれる効果を具体的に記入願います。</p>	<p>(例1：平成29年下期(12～2月、500名程度送客を目標)の第2ブランド商品で〇〇町の〇〇体験、〇〇プランをオプションのプランとして商品化を検討)</p> <p>(例2：平成29年2月より、首都圏・関西圏の合計〇店舗において〇〇エリアキャンペーンを展開し、4～6月合計500名送客を目標。)</p> <p>(例3：媒体誌〇〇、WEB媒体〇〇など合計5媒体で、〇〇エリアの情報を紹介し、合計で約1千万円相当の広告換算額を目標。)</p> <p>(内容を書ききれない場合は別紙にて添付のこと)</p> <p>[第1希望]</p> <p>[第2希望]</p>

『広域観光推進事業』モデルルート視察・検証地域一覽

① SAIHOKU・島めぐり手形事業  
(利尻町、利尻富士町、礼文町、稚内市)  
「島めぐり手形45 NPASS」(フェリー・路線バス  
が4日間乗り放題となるフリーパス)による実証  
実験の取り組み(★9月末までの限定発売)

② 「道北クラフト&ブレイ」ブランド化推進事業  
(名寄市、美深町、下川町、幌加内町、中川町、  
音威子府村) 道北のアウトドアレジャーと  
北海道開拓時より盛んであった林業を結びつけた  
「モノづくり体験」の取り組み(★通年)  
【おすすめの観光素材】  
・「開散期モニターイベント」終り火「なごり雪」

③ 樺戸道路を活用した観光周遊ルートづくり  
促進事業 (美幌市、岩見沢市、三笠市、月形町)  
(サブテーマ:「そらちワイン&フードツーリズム推進事業」)  
開拓の礎である「集治監」や「樺戸道路」、日本産業近代化  
に向けた炭鉱・鉄道、昨今ブームの「ワインツーリズム」、  
「ファームレストラン」など、豊富な素材を周遊ルートとして  
紹介(★おすすめ ~10月頃まで)  
【おすすめの観光素材】  
・ワインリレーを巡るタクシニアーズの発売(実証運行)  
・JR岩見沢駅でのプロジェクトアクションマップ

④ 北海道新幹線二次交通を活用した木古内駅拠点周遊・  
通年型観光促進事業  
(木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町  
厚沢部町、乙幌町、奥尻町)  
北海道新幹線の開業により、「江差-松前周遊フリーバス」~千年  
北海道手形(★~10月)の発売や「冬の観光バスツアー」(2月)  
を実証運行。  
【おすすめの観光素材】  
・「かき小屋知内番屋」リニューアルオープン  
・道南いさりび鉄道「観光列車ながまれ号」の運行

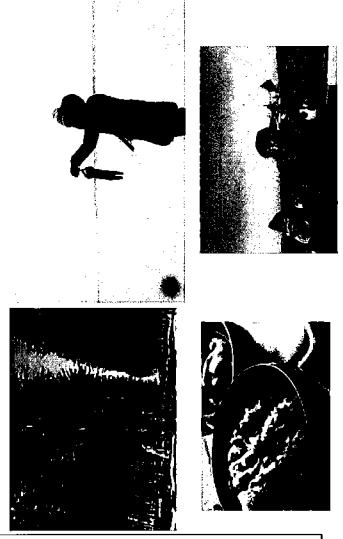
⑤ 「R237・芸術の旅」商品開発事業  
~エンタビ2016~(富良野市、旭川市、上富良野町  
ほか) 芸術と文化を融合した新しい旅行商品ツア一  
を検討。(演劇のプロがツアーガイドを実施)  
富良野演劇工房、三浦綾子文学記念館、後藤純男  
美術館(★9月以降~開散期がおすすめ)

⑦ さいはての女子旅 Re Birthプロジェクト  
(羅臼町、別海町、中標津町、網走市、北見市、釧路町)  
首都圏・札幌圏をターゲットにレンタカーによる「女子旅」を  
誘致するため、地元観光協会の女性スタッフが女性ならでの  
目線で、観光スポットをご案内(★9~10月がおすすめ)  
【おすすめの観光素材】  
・羅臼町陸上プログラムの開発(観光船次航対策)  
(「時空の森ハイク」、「小島の森ハイク」)  
・北見市「いつでも」厳冬の焼き肉体験」(プランの商品化  
は1月下旬~2月予定)



⑧ 「中標津空港を拠点としたフードトレイルとアクセス整備事業」  
(サブテーマ:「べつせかい別海町のプレミアム体験事業」)  
(羅臼町、別海町、中標津町、根室市、弟子屈町)  
ひがし北海道で整備を推し進める「フードトレイル」の一環。  
中標津空港を拠点とした「酪農&海鮮フード」と大自然の体験。  
【おすすめの観光素材】  
・「シマエビ体験プログラム」(別海町):★10月中旬~11月初旬  
・厳寒期の「氷平線ウォーク」、「トリック写真プログラム」(別海町)  
★2月限定  
・空港利用EXEバス&タクシ一宿泊特典「特別料理」のプラン発売  
羅臼町、別海町、中標津町(★12~2月)

⑥ フードトレイルを活用した、十勝・帯広の食と景観をめぐる秋の滞在推進事業  
(帯広市、幕別町、音更町、中札内村、清水町、鹿追町)  
十勝の「食」を生かした「食」の周遊バスの運行  
(1日目の午後から2日目午前まで(★9月24日から、10月18日までの  
毎土~火曜日運行)  
【おすすめの観光素材】  
・「ガーデンスパ十勝川温泉」(10月グランドオープン)  
・柴竹ガーデンでの朝食、十勝ヒルズでの屋食(周遊バスで立ち寄り)  
ひがし北海道三ツ星街プロジェクト(釧路市阿寒湖、弟子屈町、知床・斜里町)  
「三ツ星街道バスポートの販売」、同エリアでのフードトレイルの検討。  
【おすすめの観光素材】 ひがし北海道周遊観光バスの活用(8月20日~11月2日)



こころにくる旅。  
北海道  
HOKKAIDO

